

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第168号

発行：令和4年2月25日



新型コロナウイルス収束と地域の経済発展を願い金武町、うるま市、宜野座村の冬空を彩った「環金武湾花火ファンタジア」の大輪＝令和3年12月25日、金武中学校グラウンドの打ち上げ花火

主な内容

- 一般質問…………… P 2～14
伊藝菊博 P 2 / 吉野 潤 P 3 / 山里 均 P 4 / 外間慎仁 P 5 / 仲村広美 P 6
松田健人 P 7 / 伊藝直樹 P 8 / 池原政文 P 9 / 仲間トム P 10 / 大城一之 P 11
崎浜秀幸 P 12 / 大城政敏 P 13 / 前田健次 P 14
令和3年第7回（12月）定例会・第8回（12月）臨時会…………… P 15～20
令和4年第1回（1月）臨時会等

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292 有線電話 8-2292
金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん（均霑）とは…「均しく霑う」という意味で、町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行第1号の際に命名しました



令和3年第7回(12月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝 菊博 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

町道・農道

伊藝議員 側溝の危険箇所があるが対策は。

仲間 一町長

町は町道のパトロールや町民、各区からの情報提供等で町道の破損箇所を確認し、危険な箇所を優先して改修を実施している。



改修が必要な側溝

伊藝議員 町内の減速帯(ハンプ)は何箇所あるか。

町長 金武区1箇所、伊芸区6箇所、屋嘉区8箇所の計15箇所である。

伊藝議員 近年、町道・農道で水害による被害が多々発生しているため町内全域を調査して災害対策すると

の事だが進捗状況は。

町長 町道は令和3年11月9月に冠水の原因を探り、改善に向けた対応策を打ち出すため「金武町内冠水対策調査」を実施した。今後は調査結果に基づき改善に向け工事等を実施していく。

農道は近年豪雨災害が頻発しており道路冠水や法面崩落等が発生していることから災害時の状況を勘案して今後の計画に反映させていく。

伊藝議員 町道・農道は雑草、ごみ等が散乱し、景観が好ましくないが。

町長 町道はパトロールの実施や町民からの情報提供により草刈りや木の伐採、側溝内の土砂除去等を継続的にやっている。

農道管理は広範囲に及ぶため金武町農地・水・環境保全管理協定運営委員会が多面的機能支払推進交付金を活用し、各農家にも協力してもらうよう連携して取り組んでいく。

金武町放課後健全育成事業

事業

伊藝議員 各区長、支援員との連携はどのように図っているか。

町長 年4回の定例会、毎月実施している主任会議及び必要に応じて情報の共有を図っている。

伊藝議員 令和3年度の各地区の利用者数、正規支援員、契約補助員は何人か。

令和3年度の各地区の利用者数、正規支援員、契約補助員は何人か。

町長 (左表のとおり)

各地区学童の状況(11月末現在)(単位:人)

区	利用者	支援員	補助員
金武	69	3	5
並里	53	0	6
中川	37	2	3
伊芸	35	1	4
屋嘉	38	3	5

伊藝議員 正規職員(支援員)に採用する条件は。

仲間 賢一 町長 支援員の資格を有する方を優先に正規職員として採用している。

伊藝議員 屋嘉地区学童施設でコンクリートが剥がれている箇所があったが、区からの要請はないか。

仲間 功 社会教育課長 9月に話があったので、12月議会です算化をして応急処置をする予定となっている。

9月に話があったので、12月議会です算化をして応急処置をする予定となっている。

選挙

伊藝議員 10月31日の衆議院選挙での期日前出張投票所設置期日の理由は。

安富 祖勸 選挙管理委員会書記長 各区の有権者数や令和元年の第25回参議院選挙、他の選挙の期日前投票者数を参考に中川区が10月28日(木)、伊芸区は29日(金)、屋嘉区は30日(土)に設置した。

伊藝議員 出張投票所の日数を増やせないか。

選挙管理委員会書記長 選挙管理委員会ではこれまでの投票数を勘案して検討していく。



コンクリートが剥がれている天井



吉野 潤 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

行政サービスへの取り組み

吉野議員 粗大ごみの受入れ及び回収方法は。

仲間一町長 各自で粗大ごみの処理券を購入し、中川地区にある金武町ごみ処理場に直接搬入してもらっている。

車のない高齢者等については町と契約している業者と各自で直接時間帯や場所等を調整して回収をお願いしている。

吉野議員 申し込み方法は、公民館を経由しているのか、住民生活課から案内しているのか。

儀間権 住民生活課長 業者と直接個数やどこで回収するのかを調整してもら

い、その業者が指定された日時、場所に回収しに行くということになっている。

吉野議員 搬入量は。

町長 11月末現在で家具類・小型家電で約6200個を受け入れている。

吉野議員 コミュニティバス試験運行の利用者数は。

町長 (左表のとおり)

運行状況(10月18日～11月30日)

区	運行回数	利用者
金 武	6回	14人
並 里	7回	11人
中 川	5回	11人
伊 芸	利用実績なし	
屋 嘉	6回	35人

吉野議員 町民への告知は。

町長 有線放送、広報金武、ホームページ、LINE、Q ABデータ放送を活用している。また、各区においてペーシング放送、公民館だより、チラシ、ポスターを

作成してコミュニティバス利用について区民に知らせている。



コミュニティバス

吉野議員 利用者にアンケートを配っているがどのような回答があったか。

安富祖勸 総務課長 外出

回数の増加や有料でも利用しても良い等があった。

吉野議員 次年度から有料にするという方向性での試験運行なのか。

総務課長 有料にするのか

はまだ白紙である。町民が利用しやすい形でやっていきたい。

農業振興

吉野議員 毎年同じ時期に農業用廃プラスチック回収が行われているがその理由は。

町長 実施時期についてはプラスチック類の中で特に多いビニール類は台風後に廃棄が増えることから台風発生時期が終わる11月に実施しており処理量は年間約5・4tとなっている。

吉野議員 利用する農家から回数を増やしてほしいとの事だが。

町長 回収業者の受入れ可能数量や農家の意見も踏まえ複数回の回収が可能か検討していく。

吉野議員 豚舎から出るし尿等を農家に還元しているが成分分析は定期的に行っているのか。

町長 肥料法に係る申請時において窒素、リン、カリウム等の項目について成分分析を実施している。

吉野議員 農家には結果報告を伝えているか。

町長 利用農家からの問い合わせに対して回答している。

農業集落排水事業

吉野議員 接続率は。

町長 (左表のとおり)

区	接続率
金 武	23.80%
並 里	84.70%
伊 芸	81.15%
屋 嘉	73.03%

町内の下水道接続率
(令和3年11月末時点)

吉野議員 接続率を上げる取り組みは。

町長 平成29年度から沖縄県の補助を活用し、並里、金武地区を対象に浄化槽から農業集落排水への接続を行うための費用の一部を補助する金武町農業集落排水効果促進事業を行っている。



山里 均 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ヤングケアラー

山里議員 県から実態調査

の依頼があったか。

比嘉貴一教育長 沖縄県

教育庁義務教育課から各市町村教育委員会、各公立小中学校宛に沖縄県ヤングケアラーに関するアンケート調査依頼があり、令和3年11月10～30日まで行った。

山里議員 18歳未満ということだが高校生は。

與那城樹学校教育課長

高校生は県立なので県が直接学校を通して行うと考える。

山里議員 窓口等で相談はあったか。

教育長

家庭の事情により、児童や生徒が家族の身

の回りの世話をしている、祖母の病気による通院の介助を行っている等の事例があり、関係部署が連携して対応している。

山里議員 どのような支援

をしているのか。

学校教育課長

不登校気味の生徒がいることがあり、こども支援課、保健福祉課を入れて、ケース会議を行った。実際、家を訪問したところ、その子が親を介護していることが分かり保健福祉課の福祉サービスで昼間のサポートをつけることで子どもが学校に復帰できた。

町花(桜)

山里議員 金武入口バス停

留所付近や金武大橋近く旧国道の肥培管理は定期的に行っていたか。

仲間一町長 道路管理の一環として桜周辺の雑草の

除草作業を実施しているが、桜が成木のため定期的

な肥培管理は行っていない。今後は樹木の状態を見ながら検討していく。



金武大橋付近旧国道の桜

山里議員 10年前に金武ダ

ムで植樹祭を行ったが全滅している。事前に土壌分析はしたのか。

伊勢勲企画課長

土壌の調査はしている。植樹後の管理が不十分で育たなかったと考える。

山里議員 枯れ木があるが

植樹する予定は。

町長 桜の植え替えを予定

しており、植樹の準備をしている。

山里議員 町道中川1号線

から喜瀬武原集落近くまでの桜はこの管理か。

町長 沖縄防衛局が管理を

しており、年に2回の除草作業、年に1回の施肥、農薬散布等の作業を実施していると報告を受けている。

山里議員 金武ダム公園、

ヤクモー広場周辺、億首

川せせらぎ公園の桜の管理はどこが行っているか。

企画課長

ダム事務所から町が委託を受けて企画課で人夫を雇い、作業をしている。

山里議員 会計年度任用職

員で対応しているのか。

企画課長

せせらぎ公園沿いの草刈りは会計年度職員で行っているが、桜については管理していない。

県道104号線の法面

山里議員 以前は観葉植物

等で景観も良かったが、現状は雑草や雑木地になっているが今後の予定は。

知念久商工観光課長

商工会に管理方法を問いかけており、商工会の考えが決まり次第町も協力して以前

のようにきれいに管理してもらえよう確認していく。

山里議員 他に計画がある

のか。

町長 同法面は町のPRの

役割を担ってきたが、現在はデジタルサイネージが整備され、今後はデジタルサイネージを活用し、町の行政情報や観光情報等を幅広く発信していく。



植栽した当時の法面(平成16年) 雑木地になっている現在の法面



外間 慎仁 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

子育て支援(学童・保育)の拡充

外間議員 学童支援員の処遇改善はどのような状況か。

仲間一町長 令和2年度に各区長及び主任、副主任との協議を経て3年度からキャリア加算等の処遇改善を適用している。

4年度からは年次昇給や追加のキャリア加算の適用を目指している。

外間議員 学童施設整備は改善されているか。

町長 公民館の一部を占有する放課後健全育成事業は基準を満たしているものの専用施設の作りでないことから不便が生じる場合もある。

り、状況に応じ改善を図る必要がある。

外間議員 嘉芸こども園建設の進捗状況は。

町長 令和3年度に新園舎の開園予定だったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延、令和3年7月の静岡県で発生した豪雨による土砂災害に関連し土地造成の設計調整に時間を要し園舎建設の着工が遅れる状況となっている。今後も嘉芸こども園の運営法人である社会福祉法人金武福祉会及び関係機関と連携を図り、本事業の早期完了に向け引き続き調整を図っていく。



嘉芸こども園予定地

外間議員 保育士の給料の県平均は約20万円だが、町はどこを参考にしているのか。

か。

仲間賢こども支援課長

会計年度任用職員の初任給で保育教諭の資格のみについては16万6900円からのスタートとなるが現在ではキャリア加算や認定の資格研修を受けた者は17万5000円以上の給与が月額で出ている。「県平均約20万円」は民間の金額であり多少下回っているが、しっかりと改善を図っているという状況である。

耕作放棄地の解消(パワーアップ事業)の進捗状況と武田原の活用

外間議員 ンタバル(武田原)の景観は耕作放棄地が目立っている状況だがパワーアップ事業の進捗状況は。

町長 パワーアップ事業は田芋の生産振興を図ると同時に経営拡大を目指して金武町内水田の遊休地再生・利用に取組む担い手等に遊休地の再生に係る経費1

アールあたり5000円を補助するもので、農業委員会及び各部会への事業説明、広報金武での申請者募集、対象者への文書案内等で周知を図り取組んできた。実施状況は相談件数が15件、採択実績が1件となっている。

外間議員 今後のンタバル(武田原)の活用は。

町長 一筆ごとの面積が小さく地権者が多いため相続等で複雑化している事や、水はけが悪い事などによって農地としての活用が難しい状況になっている。同地域については並里区から町に対して整備要望があり、整備後は各種団体の体験学習や野菜収穫等を行う場所として活用したいと伺っている。町も地権者、並里区と意見交換を行い同地域の有効活用を検討しながら遊休地の解消に取り組んでいく。

外間議員 耕作放棄地に対

する要望はないのか。

町長 区長や老人会からもいろいろな言われている。新たな事業展開を模索してバイパスから集落が見栄えの良い地域にしていきたい。

国道329号の渋滞解消

外間議員 バイパス(渡慶頭原側)と国道329号との合流地点等の渋滞解消対策は。

町長 渡慶頭原交差点の金武バイパス本線移行については北部国道事務所より現道329号の交通量が多く、今後キャンプ・ハンセンのアクセス道路へ交通量がシフトし、現道329号の交通量が減ることが確認された段階で沖縄県警察本部と協議を重ねた後にバイパスへの本線移行が行えるものとなっている。

その他の質問事項

ウィズコロナへの経済対策の取組みと新型コロナウイルス第6波への対策と備え



仲村 広美 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

金武町役場における福利 厚生及び人事異動等を含 む職場環境

仲村議員 令和3年6月定

例会の一般質問でストレス
チェックの分析を職場環境
の改善につなげる仕組みを
作っていききたいと答弁が
あったが、その後の対策は。

仲間一町長 全職員を対

象に毎年度実施した個人の
結果を一定規模の集団ごと
に集計・分析を行い、産業
医や産業カウンセラーとの
相談事業により所属長等へ
状況説明とアドバイスを
行い、職場環境の改善を
図っていく。

仲村議員 人事異動等を含
む働きやすい職場環境に

応する取組みは町民サービ
スの観点からも重要だと考
えるがどのような対応をし
ているのか。

町長 1つの課に在籍する
年数が3～5年を目安に
行っており人事異動希望調
査や年齢構成、経験年数等
を総合的に勘案し、適材適
所を念頭に配置を行っている。
る。

仲村議員 女性管理職の配

置に偏りがあるように見受
けられる。男女関係なくい
ろんな課を経験することは
将来役に立つと考えるが。

町長 異動希望調査で女性
は育児休暇、妊活等で希望
先が1つの課に集中してい
るところがある。

町の政策に直接関わらな
い部署、休んでも臨時的任
用職員が法律に従って事務
処理できる部署の異動に
なっている。

仲村議員 男性も育児休暇
を取ることができるのでど
の課に行っても待遇が受け

られる環境を作ることを目
指してほしい。

新採用職員は窓口対応の
課に配属した方が良いので
は。

安富祖勧総務課長 職場

環境の改善、新採用職員に
ついては町民ニーズに直接
触れるという思いは一緒に
あり、総合的に勘案して対
応していきたい。

町外の小中学校へ通学 している生徒への通学 費、給食費の補助

仲村議員 令和2年6月定

例会の一般質問で町外へ通
う生徒にも通学費、給食費
の補助を支給すべきだと質
問したがその後検討はした
のか。

比嘉貴一教育長 給食費

は再編交付金を活用し基金
を積み立て、町内小中学校
に通学する児童・生徒に対
象に全額免除しているが、
補助先と調整した結果、当
初の交付申請の内容を変更

することは難しく、申請通
りに執行するようにと指導
があり、町外の学校へ通学
する児童・生徒へ補助がで
きないものとなっている。

仲村議員 現代は学校の選

択肢が増えてきている中に
おいて、校区外の学校を選
択した子も大切な町の宝物
だと考えているが時間をか
けてでも不公平感を無くす
ために検討してほしいが。

教育長 教育委員会は地元

の町立学校を充実させるべ
きだという考えだが、長い
歴史の中で変化が起きてい
るため慎重に検討は重ねて
いきたい。

金武町合併処理浄化槽 設置整備事業補助金交 付要綱

仲村議員 補助金の内容

は。
町長 平成12年に浄化槽法
の改正で単独浄化槽の新設
が禁止され、生活排水によ
る公共用水域の水質汚濁を

防止すること等を目的に町
の定める地域内において合
併浄化槽を設置する者に対
し、予算の範囲内で補助金
を交付する為、平成13年3
月30日に要項が制定され
た。

仲村議員 今後の対応は。

町長 下水処理については
浄化槽ではなく農業集落排
水への接続を推進してきた
が地形等により未整備の地
域がある。

接続ができない地域は合
併浄化槽設置における対応
を考えている。

仲村議員 接続ができない
場所は一般財源で補う努力
も必要では。

池原均副町長 この要綱
は一部改正が必要であり、
改正して要綱が適用できる
ように頑張っていく。
新年度には何とか形にい
きたい。



軽石問題



松田 健人 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

松田議員 町内の被害状況は。

仲間一町長 海岸等に軽石が漂着しているのを確認している。

松田議員 漁、モズク、海ぶどう等の影響は。

町長 12月現在では影響はないと報告を受けている。

松田議員 今後の対応は。

町長 県が採取又は保管に係る規制や取り扱い等を、漂着した場所ごとの問い合わせ先や必要な手続等について示しており、その内容に基づいて対応していく。

松田議員 オイルフェンス等の設置は。

町長 町内の港湾施設への

設置予定はないが、今後軽石流入が予測される場合は県へオイルフェンス設置の要請を行っていく。

松田議員 金武漁業組合の組合員数は。

糸村昌敏 農林水産課長 正組合員37名、準組合員67名、合計104名である。

松田議員 軽石を吸い込まないエンジン改造等の支援はできるのか。

農林水産課長 町ができることは支援していきたいと考えている。

現在は漁業組合で取組めるか組合員と話し合いをしていると聞いている。

松田議員 軽石の有効活用は。

町長 県の対処方針では回収した軽石の利活用等の方法について早急に確認、開発するとともに、民間等のアイデアも活用して多様な方法を実現する為に必要な措置を行うとしており、町としても県の今後の対応等

について確認しながら取り組んでいく。

松田議員 仮に軽石がギンバル海岸に漂流した場合はビーチの供用開始延期の可能性もあるか。

知念久商工観光課長 マリンレジャーや海水浴については撤去する必要が生じた場合、影響が出るものと考えてる。



町内で除去された軽石

ASBO STAY HOTEL (ギンバル温泉ホテル)

松田議員 当初より開業時期が遅れたのは。

町長 ホテル建設地から駐

留軍由来の埋設物が発見され、その埋設物の撤去に係る期間及び新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、感染予防措置として工事作業員の数を削減した為に工期の遅れが生じ、開業時期が遅れた。

松田議員 ホテルの雇用体制は。

町長 昨今の新型コロナウイルス感染症拡大状況や社会情勢を鑑み、当初計画より少ない職員で開業することを検討すると聞いている。12月6日時点での町民の応募者は15名で、内3名が決定している。

松田議員 施設の内容は。

町長 来客用駐車場が129台、1階はフロント、カフェ、ショップ、食事会場として利用可能なミーティングルーム。2階はサウナや温水マッサージ等を備えた90名前後入れるお風呂と約80席のレストランがあり、3、6階は2名と4名

タイプの客室となっている。

松田議員 プロスポーツや一般客、修学旅行等の受入は。

町長 キャンプ時の選手・スタッフ、修学旅行は積極的に受け入れ、一般客はホテルの受入体制が整い次第ホームページ等で周知していくと聞いている。

松田議員 町民利用に関する優遇等は。

町長 温泉入浴のみの利用も可能となっており、町民料金は割引になる。



ASBO STAY HOTEL



伊藝 直樹 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

中川 区

伊藝議員 中川区内の畑の面積は。

仲間一町長 約25・1ヘクタールである。

伊藝議員 中川区内で水耕栽培をしているが水の確保はされているか。

糸村昌敏 農林水産課長 現在水は必要量を確保できている。

伊藝議員 農業用水の配管が漏水した場合は区事務所と役場で協議をするのか。

農林水産課長 区が管理をしており、区で対応に困った場合は町に相談してもらい、一緒に現場を見て対処方法について考えている。

伊藝議員 河川を堰き止め

てポンプで吸い上げているが農業用水タンクまで距離がありポンプに負担がかかっている。金武ダムから水の供給ができないか。

町長 特定用水利補給区域としてキトヨバル（木登代原）とシナタバル（志那田原）の土地改良区域へ給水可能な範囲として設定されている。

伊藝議員 金武ダム周辺の高台に農業用水のタンクを設置して、自然流下する考えはないか。

農林水産課長 水利権で量について定めがある。二つのエリアについてはダム水を活用して給水していくと



農業用水が未整備な木登代原

いう計画を立てている。

ダムからの水と区が管理している水源地の水をうまく活用しながら考えていかなければいけない。

伊藝議員 県に農業基盤整備促進事業を要望しているがほかに事業がないのか。

町長 事業採択に向けて事業計画を作成し、県へ要望しているが、当該地区における農業用水の必要性や整備計画における費用対効果等に課題があり、事業採択まで至っていない。

伊藝議員 中川区は集落排水事業が未整備のため、管の工事と農業用水の管も同時に整備できないか。

伊芸誠上下水道課長 中川地区は農業集落排水事業計画地域になっているが、区・住民の要望がないと町は動けない状況である。

農業 振興

伊藝議員 もみから白米にできるコイン精米所導入の

考えはないか。

町長 精米作業の受託を行っている農家や生産農家への需要調査等を行いながら検討していく。

伊藝議員 精米所はコンパクトサイズで駐車場2台ぐらいのスペースがあればどこでも設置できるが検討できないか。

農林水産課長 県外ではJAが設置している事例があり、JAや他の事業所と意見交換をしながら、設置場所やどういう仕組みが必要なのか調査していく。

伊藝議員 ツルヒヨドリによる農家からの被害報告はあるか。

町長 これまでに数件の相談がある。

伊藝議員 新聞報道で「高温水でツルヒヨドリ駆除」とあったが内容と結果は。

町長 ケルヒージャパン株式会社との共同実験としてンタバル（武田原）にある親水広場の一部を実験地

とし、10月28日から開始をしている。

散布区間を2つ用意して90度以上の高温水を散布し除草に係る時間や除草効果の比較検証を実施している。散布直後から葉の変色が表れ、2日後には大部分が枯死していることを確認している。今後は継続観察を行い、除草効果の持続性等を調査する予定である。

伊藝議員 他の植物にも影響するのか。

農林水産課長 高温をかけてしまうと他の植物も枯れる恐れがあると考えている。



高温水による除草作業



池原 政文 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ギンバル開発に伴うホテル建設等計画の進捗状況

池原議員 工事の着工が遅れている理由は。

仲間一町長 ホテル建設の前提条件となっていた海岸整備の事業採択が遅れたことやオリシピックの影響により観光の在り方が激変し、開発計画の見直しを余儀なくされていること等があった。

池原議員 トロピカーナ社から遅れた理由は書面で提出されているのか。

知念久商工観光課長 書面ではなく役場側とトロピカーナ側との定期的な協議で行われたが現在は協議が止まっている状態となつて

いる。

池原議員 どこで会議が行われたのか。

商工観光課長 会議は役場かトロピカーナ側の出先の事務所を担当者同士の協議が行われていた。

池原議員 町に所在する同社の出先である沖縄金武リゾートの現状は。

町長 トロピカーナ本社のあるマレーシアは新型コロナウイルス感染症拡大がひどく、一時はロックダウンが行われている状況であった。そのため本社はすべてリモートワークを行い、沖縄金武リゾート株式会社についても本社に準じる形でリモートワークを実施している状態となっている。

池原議員 閉鎖になったのか。

商工観光課長 本社のあるマレーシアは9月までロックダウンで12月現在も感染者数多くが出ている状況で、本社や金武リゾートも

リモートワークになっているというところで事務所は不在になっている。



トロピカーナ社のホテル予定地

池原議員 町の取組みは。

町長 海岸整備の進捗状況の報告と早期の工事着工を促す文書のやり取りを行っている。

池原議員 今後の見通しは。

町長 トロピカーナ社との連携を今まで以上に密にし、アフターコロナに向けた金武町の観光振興に向けて、工事の早期着工を促していく。

池原議員 町がトロピカーナ社に転貸借契約した並里区有地の賃料総額は。

町長 平成24年度から令和3年度まで約1億8000

万円である。

池原議員 土地の賃借料の支払いは工事着工から20年後に支払いなのか。

商工観光課長 本賃貸借契約開始後20年を経過という形になっており、全ての工区も開始から20年経てば基準となる金額で賃料が入ってくる。

職員の人事評価制度

池原議員 評価制度の目的は。

町長 能力・実績の評価成績に基づく人事管理によって役場組織全体の士気高揚、公務効率の向上を図り、より高い能力を持った職員を育成し、住民サービス向上に寄与する目的がある。

池原議員 評価の対象となる被評価者の範囲は。

町長 正規職員が人事評価の対象となっている。

池原議員 会計年度任用職員は。

安富祖勸 総務課長 現時

点では正規職員のみが対象である。

池原議員 評価者の研修の実施は。

町長 平成28年度に全職員を対象とした研修を実施し、導入後も評価制度の定着及び適切な運用を図るために29、30年度に一次評価者である係長以上の職員を対象とした研修を実施している。また、新採用職員や人事異動による昇任で新たに評価者となった職員は職員研修の中で評価制度に関する説明等を行っている。

池原議員 評価の結果の活用は。

町長 地方公務員法第23条第2項に人事評価を職員の任用、給与、分限、その他の人事管理の基礎として活用する旨が定められており、町に人事評価に応じた適材適所の職員配置、厳正公正な分限処分、効果的な人材育成に活用するものとなっている。



仲間 トム 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ツルヒヨドリ

仲間議員 町内のツルヒヨドリによる被害状況と分布地は。

仲間一町長 町独自で現状調査確認をしたところ、

多くは屋嘉地区の山手側や、ンタバル（武田原）の親水広場周辺に生息している状況があり、そのほか町内の一部において、少量ながら確認している。

仲間議員 ツルヒヨドリの繁殖力や生態系は。

町長 驚異的な繁殖力を持ったつる性の植物で、一つの株を放っておくと1年間で25メートル四方に広がってしまうため、農作物にも大きな被害を及ぼす可

能性がある。



サトウキビに被さるツルヒヨドリ

仲間議員 今後の対策は。

町長 高温水による除草は薬剤による除草ができない農地等において安全安心に利用できる防除手法として期待できることから、今後実証実験等を行うなどして検証していく。また、ツルヒヨドリの見分け方や特徴等周知するとともに、生息範囲が広い箇所等は環境省那覇自然環境事務所や沖縄県と防除方法等について指導を受けながら対応していく。

仲間議員 高圧洗浄機は家庭にあるような物か。

糸村昌敏 農林水産課長

業務用であり大きいポンプと高湯式のボイラーがセツトの構造で4〜5人で持てる大きい物である。

仲間議員 除草剤を使う考えは。

農林水産課長 県の北部農林水産振興センターの指導員から作物に合った除草剤で駆除するよう示されており、農家から相談があった場合はそのように伝えている。

仲間議員 農家から相談は。

農林水産課長 つる性の植物があるのでツルヒヨドリなのかという確認の問合せが4〜5件ある。

仲間議員 農家に駆除方法等の講習はしたことがあるか。

農林水産課長 作物ごとに講習会を行っており、例えばサトウキビの場合は県の

農林水産振興センターが防除方法のチラシを作って配布されている。

町ではツルヒヨドリ防除の講習会を行ったことはないが、状況に応じて対応していく。

仲間議員 水辺を好む植物なのか。

農林水産課長 屋嘉地区においては水辺とは関係ない法面にも一部見られるが、把握できていない状況である。

学童保育の要望

仲間議員 並里公民館2階

の身障者トイレの一部を改装してお湯が使えるシャワー室を造れないか。

町長 並里区長及び支援員等においてシャワーの設置場所やその機種等について検討している状況にあり、

まとめ次第、町と協議したいと報告を受けており、設置に向けた調整を進めていく。

仲間議員 身障者トイレはスペースが大きいので設置してほしいが。

仲間賢 こども支援課長

町としてはシャワーを設置した場合、十分な広さになるか疑問があり、移動に問題がなければ1階のトイレも視野に入れて検討してほしいと要望している。

仲間議員 年明けには着工できるのか。

こども支援課長 総合的に設置場所や見積りを出してもらい、予算の範囲なのかも含めて議論を進めていく。



シャワー替わりに使用している屋外の洗い場（並里公民館2階）



水源基金創設



大城 一之 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

大城議員 財団設立の目的

仲間一町長 沖縄振興計

は。

画に基づく多目的ダム建設に伴う水源地域への影響を緩和するため、水源地域の振興対策を講ずる市町村に対し、水源地域対策特別措置法に準じて助成事業を行うことによって、水資源の安定的確保と水源地域の振興を図ることを目的に基本財産1億40万円、内訳は沖縄県が5000万円、関係市町村が5040万円をもつて、昭和54年3月29日に設立されている。

大城議員 主な事業内容

は。

町長 多目的ダムまたは取

水堰の建設の行われる市町村が対象となる特別振興対策事業を活用して平成20、21年度にかけて特産物加工工場関連施設整備事業を実施している。

大城議員 解散の経緯は。

町長 当財団の事業実施が平成24年度で終了することと、新たなダム建設の予定がないことから平成24年度末に解散されている。

大城議員 水源地域環境保全事業助成金は。

町長 平成29年度に金武ダム公園広場等の維持管理に必要な乗用芝刈機を購入、令和元年度に金武ダム公園広場等の維持管理やイベントに必要なダム倉庫設置等、これまでに総額約1100万円で年間約300万円が助成金となっている。

大城議員 町にとっての水

源基金の必要性は。

町長 ダム機能を維持する

ための水源涵養林や一周道路等の維持管理の財源確保は重要であると考えてお

金武町まつり

り、解散に伴い打ち切られた水源基金に代わる新たな基金創設の在り方についても今後検討していく必要があると考えている。

大城議員 今年度の開催方

法は。

町長 令和2年度同様、同実行委員会の書面決議を経て、事業計画の変更を行い、

花火プログラムを実施する。中川区から屋嘉区までの地域で花火を鑑賞しても

らうよう、12月25日午後7時30分頃から、ギンバル訓

練場跡地、金武中学校グラウンド、嘉芸小学校グラウ

ンドの3地点から実施する計画となっている。今回は

宜野座村、うるま市と連携し、「環金武湾3市町村連

携元気応援プロジェクト2021」を実施する。

大城議員 告知方法は。

安富祖勸 総務課長 広報

金武、臨時のチラシで各世帯配布、SNS、QABデー

タ放送、また当日の打ち上げ前にアナウンスをする予定である。

大城議員 町民に花火を見

てもらえることを考えてほしいが。

総務課長 自宅やネット配

信、テレビ番組で配信されるので見てほしい。

大城議員 3市町村の思い

もあって花火が上がるわけなので後で配信を見てもら

うのは実物と画面では全然違うのでぜひいろんな場所

で見られるようにしてもらいたい。

町長 ギンバルの人工芝、

天然芝の開放に向けてたくさんの方々に花火の目的で

ある「元気、勇気、活力」を感じてもらえるファンタ

ジアにしていきたい。



金武中学校(右)と海中道路(左)から打ち上げた花火

町道金武157号線の冠水

大城議員 令和3年9月定

例会で質問した町道金武157号線の冠水に対する町のその後の対応は。

町長 大雨時にキャン

プ・ハンセン内から流れてくる水量が多いことが判明した

ので10月22日に沖縄防衛局と協議し、キャンプ・ハン

センからの流入を減らすよう要望を行った。

また、10月28日に冠水の影響を受けている住民を対

象に冠水対策調査の結果や今後の対策等について説明

し、地域住民から町に対する早急な対応を求める声を

もらった。

具体的な冠水対策として

民間地を通らないキャン

プ・ハンセン内に新たな排水施設を整備する案や基地

内に流量調整タンクを設置

する案等を検討していく。



血液検査



議員 崎浜 秀幸

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

崎浜議員

水道水からPFA

ASが検出されたことを受け町は汚染対策をどう取組むのか。

仲間一町長

地下水源に

依存しない水道施設整備事業の実施に向け令和3年度に実施設計を行い、4年度に新たな水道水の供給体系を構築する工事を実施、5年度中には金武、並里の水道水を全量企業局用水で供給できる水道施設整備に取組んでいく。

崎浜議員

10月に町長は沖

縄県企業局長、岸防衛大臣、西銘内閣府特命担当大臣等と会っているがその内容は。

町長

PFOsが検出された地下水と企業局の水をブレンドして住民に供給しているため地下水を使わない整備をするための予算確保やPFOs関連の地下水の調査、基地内立入調査、汚染された地下水の除去を国で責任を持ってやってもらいたいと要請した。

崎浜議員

血液検査は。

島袋博保健福祉課長

検査

のノウハウは町に無いため国・県や実際にPFOs関係の影響を受けている市町村と足並みを合わせて取組んでいくことが一番良いと考えている。

平均寿命

崎浜議員

町内男性の平均

寿命は県内最悪の状況が続いているが、改善について町はどのような取組みをしているのか。

町長

男性の平均寿命が低下した背景として、65歳未満の男性死亡率が高いこと

が原因として挙げられ、その要因には特定健診等の健診結果及び医療費等の分析を行った結果、健診の長期未受診や未治療等による病気の重症化である。

そのため健診未受診者対策として、長期未受診者への受診勧奨と重症化予防に向けた個別保健指導等の対策に力を入れて取組んでいる。

崎浜議員

町民への周知方法。

保健福祉課長

広報金武に

健康ニュースということとで、今の町民の健康状態、傾向等を載せている。肥満、高血圧、糖尿病等の分析結果や注意を告知している。また、健康カレンダーの中にも食事の取り方、工夫等も載せている。



健康カレンダーによる周知

崎浜議員

保健師による保健指導の活動は。

保健福祉課長

日頃運動する

日常を送って健康になるような体づくりの生活習慣病予防の取組みをしている。

低体重児の問題

崎浜議員

沖縄県は低体重

児の出生率が全国で最悪の状況が続いているが、町はどのような現状か。

町長

令和元年度の250

0グラム未満の低出生体重児の出生率は全国が9.4%、沖縄県が11.2%、金武町が9.7%で、全国とほぼ近い数値である。

崎浜議員

このような状況になったのはいつ頃からか。

保健福祉課長

平成10年頃から微増して10.3%、沖縄県は平均的に11%の低出生率である。それ以前は9.2%や8.1%の低い数字が出ている。

崎浜議員

妊婦さんへ教室や指導はしているのか。

保健福祉課長

母子手帳交付時に関連する資料を配布している。その後、パパママ学級等の教室を4回ほど開催して、そのたびに指導をしている。



母子手帳と一緒に配っている母子保健事業計画の資料

その他の質問事項

子どもの権利保障



大城 政敏 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

町水道水の有機フッ素化合物

大城議員 最初に水道水の検査をしたのはいつ頃か。

仲間一町長 令和元年5月31日に沖縄県企業局によるPFOS等に関する説明会の公表内容を受け、町では厚生労働省のPFOS等の水質に関し、目標値の定まっていない要検討項目ではあるものの、水道水の安全確保をする観点から、PFOS等の水質検査を令和元年8月27日に財団法人の沖縄県環境科学センターに依頼し、実施している。

大城議員 早急に町民の健康診断を行う考えはないか。

町長 今できる最善の対策として、地下水源に依存しない水道施設整備事業の実施に向けて取組むことである。

大城議員 希望者だけでも健康診断を行ってもらいたいが。

島袋博保健福祉課長 町民の健康を管理する意味で毎年1回、健康診断をしている。その中で血液検査もやっているが、今回のPFOSは委託している医療機関等に確認したところ、そういったPFOSに関する分析については取扱いをしていない、できないと回答を得ている。

大城議員 金武町ちゅら水会が健康問題、血液検査を要請した後に町長は大臣と会っているが、健康診断の件について一言も触れてない理由は。

町長 大臣との面会は限られた時間であり国の責任で原因究明、基地立入調査を

させてほしいと話をした。

人事問題

大城議員 当初予算では正規職員が147名、会計年度職員は222名だったが、補正予算4号(11月臨時会)で会計年度職員が228名で6名増えている。6名を増員した理由と配属課、担当職務は。

町長 町立小学校3校の施設管理に係る草刈り作業に従事する軽作業員3名、小学校のプール管理人3名で短期雇用の会計年度任用職員となっている。

大城議員 町は類似町村の本部町より人口で約2000名少ないことにもかかわらず、正規職員で28名、会計年度職員で77名多いがその理由は。

町長 両者を単純に比較できないが、金武町は基地所在市町村特有の事務事業やギンバル訓練場の跡地利用、子育て・教育分野にお

ける各種支援策等、地域的特殊性や町民ニーズに応えるための独自の施策に基づく業務も多岐に渡っていることから正規職員並びに会計年度任用職員の数に現れていると考えている。

大城議員 任命権者が自分の身内や親戚の者を選考で役場職員として採用することの是非は。

町長 民法725条に基づく親族は自分の年齢前後200年程度、影響人数が1000名以上に及ぶと推定でき、現実的には私の兄弟、兄弟の子、父母の兄弟の孫等が把握できる範囲内であるとと考えており、民法725条に基づく全ての親族やその採用の把握は困難と考えている。

私の町長就任後の正規職員の選考採用は2名だが、民法725条に基づく親族の採用はない。

大城議員 任命権者が自分の身内を採用することにつ

いてどう考えるか。

町長 任命権者がその権力を使って身内を採用することは不公平さが生じるためそれはいけないことだと考える。

大城議員 職員採用2次試験の内容は。

安富祖勸 総務課長 まず1次試験は作成から採点、結果取りまとめまで民間に業務委託をしている。採用予定のおおむね3〜4倍の方を合格者として確保し、2次試験は論文と面接の2種類を行っている。

大城議員 金武町職員採用に関する規則第3条で「採用は試験によるものとする」とある。特殊な業務の場合は選考採用になるが試験もして選考もするという併用はこの3条の趣旨にはかなわないと考えるが。

総務課長 競争試験でその正規職員が採用できない場合は選考採用もあり得るという形になっている。



公園管理の在り方、東屋の設置



前田 健次 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

前田議員 町内の公園施設件数は。

仲間一町長 (左表のとおり)

町内の公園の数		
区		公園数
金 武		7
並 里		6
中 川		2
伊 芸		3
屋 嘉		2

前田議員 公園の安全管理、維持管理、有効活用等について指定管理者との協議が行われているか。

町長 町内に20ある公園のうち金武地区公園、オランダ森緑地公園、スポーツ広場、浜田原公園は町が管理

し、それ以外の公園は公園が所在する行政区と指定管理協定書を締結し、維持管理に努めている。指定管理協定書締結の際には当該区長とこれまでの実績や今後の要望等を確認し、管理においても連携を取りながら日常的な維持管理については各区で実施し、修繕が必要な箇所等は適宜町が対応するなど健全な公園管理に努めている。

前田議員 屋嘉児童公園、伊芸地区公園等の東屋施設設置と老朽化した屋嘉交通公園の整備は。

町長 屋嘉児童公園は東屋と同じ機能である屋根付きのプロテクターを整備している。伊芸地区公園は遊具の整備について当初の計画から変更し、現在の位置に設置しているため、東屋の設置は検討していない。今後は東屋の設置の必要性について屋嘉区、伊芸区と調整をしていく。

屋嘉区に信号機のある広

場は整備から約40年以上が経過し、現在使用されていない状況である。当該箇所は屋嘉区有地となっていることから、今後の利活用について屋嘉区と調整をしていく。



現在使用していない交通公園

文化芸術への支援金

前田議員 町内には琉球古典研究所(三味線)が3か所、琉球舞踊音楽研究所が7か所ある。現状として厳しい運営下にあり、文化芸術活動の継続、再開のための支援を切望しているが町の見解は。

町長 新型コロナウイルスの影響が長期化する中1事

業所ごとに一律10万円を給付する金武町新型コロナウイルス緊急支援金の対象業種を拡大し、民泊やタクシー事業者など当初支援の対象に入っていなかった事業者も支援金の対象となり、琉舞や楽器、三味線の研究所等も対象業種として含まれている。今後、新型コロナウイルスの影響が継続した際には事業者等に対して引き続き支援を行い、文化芸術分野についても同様の支援策を検討していく。

生活環境行政

前田議員 屋嘉海岸背後地整備について検討結果は。

町長 屋嘉海岸背後地は沖縄県の管理となっていたが園路等の整備計画を前提に占用許可を受けている。当該箇所は草木の繁茂が著しく、景観を損ねている状況であるため、住宅の一部が国有地に越境している箇所を除き令和4年度から園路

整備を進めていく。

前田議員 町内で各種団体、個人等がボランティア清掃作業を行っている。ボランティア専用ごみ袋の作成はできないか。

町長 きれいな町づくりに努めている町内各種団体などのボランティア活動促進のため、ボランティアごみ袋の必要性を感じているため作製に向けて取り組んでいる。



うるま市のボランティアごみ袋

令和3年 第7回(12月)定例会

令和3年第7回定例会が12月14日(火)に招集され、17日(金)までの4日間の会期で開催された。一般質問は13名の議員が登壇した。

議案は各会計の補正予算や条例改正、工事請負契約、物品の取得などが上程され審議を行った。

また、「軽石の大量漂流・漂着に関する意見書」、「水源基金創設に関する要請決議」を全会一致で可決した。議決結果は下記のとおり。

令和3年 第7回(12月)定例会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和3年度金武町一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ2億729万6,000円を増額し、補正後の予算総額を138億2,839万7,000円とするもの。補正の主なものは、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中での子育て世帯を支援するための臨時給付金である。	原案可決 (全会一致)
令和3年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ4,490万1,000円を増額し、総額18億1,243万6,000円とするもの。補正の主なものは、手術、入院等の医療費増による国保一般被保険者の療養給付費及び高額療養費の増額が見込まれるためのものである。	原案可決 (全会一致)
令和3年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第4号) 歳入歳出それぞれ増減なしとし、総額を1億3,268万2,000円とするもの。補正の主なものは、光熱水費の増額と薬品代及び委託料の減額である。	原案可決 (全会一致)
金武町国民健康保険条例の一部を改正する条例について 国の産科医療補償制度の見直しにより、令和4年1月1日より当該制度の掛金が1万6,000円から1万2,000円に引き下げられるため、出産育児一時金の支給額を増額することで子育て世代の負担増を防ぐことを目的に総額を維持するため条例の改正を行うもの。	原案可決 (全会一致)
金武町長期継続契約に関する条例の制定について 債務負担行為の手続を取らなくても、施設管理や物品の借入れ等について複数年にわたる契約ができるよう地方自治法第234条の3及び地方自治法施行令第167条の17の規定に基づき、条例を制定するもの。	原案可決 (全会一致)
沖縄県町村交通災害共済組合の解散に関する協議について 交通災害事務が加入者の低迷により当該組合単独で継続することが困難になり解散するため地方自治法第290条の規定により、議会の議決を必要とするため提案するもの。	原案可決 (全会一致)
沖縄県町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分に関する協議について 沖縄県町村交通災害共済組合の令和3年度決算における当該年度末の財産合計額を沖縄県市町村総合事務組合に帰属させるため地方自治法第290条の規定により、議会の議決を必要とするため提案するもの。	原案可決 (全会一致)
沖縄県市町村総合事務組合の規約の一部を変更する規約に関する協議について 解散する沖縄県町村交通災害共済組合から交通災害に関する事務を引き継ぐため地方自治法第290条の規定により、議会の議決を必要とするため提案するもの。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
工事請負契約締結について 件 名:ギンバル海岸周辺環境整備事業管理施設等建設工事(建築) 契約の相手方:(同)イシン産業・(有)外間建設 建設工事共同企業体 契約金額:2億2,610万5,000円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:ギンバル海岸周辺環境整備事業管理施設等建設工事(機械) 契約の相手方:(株)丸政工務店・(有)ナカムラ造園土木 建設工事共同企業体 契約金額:1億7,490万円	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名:ギンバル海岸周辺環境整備事業ピロティー棟建設工事 契約の相手方:(有)富島建設 契約金額:1億175万円	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名:ギンバル海岸周辺環境整備事業備品購入(事務用品) 購 入 先:O・Aプラザ仲間 購入価格:1,190万6,400円	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名:ギンバル海岸周辺環境整備事業備品購入(マリン用品) 購 入 先:ジェットマリンショップ プラスワン 購入価格:3,245万円	原案可決 (全会一致)
物品の取得について 品 名:ギンバル海岸周辺環境整備事業備品購入(ビーチ・公園管理用品) 購 入 先:ヤンマー沖縄株式会社 購入価格:1,391万5,000円	原案可決 (全会一致)
軽石の大量漂流・漂着に関する意見書 ※詳細は17ページ	可 決 (全会一致)
陳情第17号 水源基金創設に関する要請決議について(要請)	採 択 (全会一致)
水源基金創設に関する要請決議 ※詳細は18ページ	可 決 (全会一致)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)
令和3年度金武町一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ1億2,772万円を増額し、補正後の予算総額を139億5,611万7,000円とするもの。補正の主なものは、国の新型コロナウイルス経済対策として行う子育て臨時特別給付金の1人当たり5万円の追加分である。	原案可決 (全会一致)

軽石の大量漂流・漂着に関する意見書

本年8月に発生した小笠原諸島・福岡ノ場の海底噴火に由来すると見られる軽石が、10月初旬頃から沖縄県内各地の海岸や漁港・港湾等に大量に漂着している。

この軽石の漂流・漂着により、漁港においては漁船のエンジントラブルへの懸念から漁に出られない状況が続き、県内漁業への影響が深刻化している。また、港湾においては離島航路をはじめとする船舶の航行に支障を来し、離島住民等の生活に影響が生じている。さらに、ビーチ沿いのホテルやマリンレジャーなどでキャンセルが発生するなど観光業にも影響が出ており、沖縄観光全体のイメージダウンにより今後の観光需要の回復の足かせになりかねない事態となっている。

加えて、大量の軽石が長期間にわたり海面を覆うことにより藻類や魚類の成長等に影響を及ぼす可能性が指摘されるなど、サンゴ礁や白い砂浜等も含めた本県の貴重な自然環境への深刻な影響が懸念されている。

このような状況に対し、影響の長期化を防ぎ、様々な分野において迅速かつ継続的に対応していくための支援が必要であることから、国におかれては下記事項について特段の措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 1 港湾、漁港、海岸、河川等における軽石の被害状況を調査した上で、災害復旧事業への認定を急ぎ、軽石の回収・処理や漂着等防止対策に関する人員及び資機材等の派遣支援並びに財政支援を行うこと。
- 2 軽石による漁船・船舶の故障、修理及び被害防止策等への財政支援を行うこと。また、漁船保険が適用できるようにすること。
- 3 軽石による被害や影響を受けた漁業及びマリンレジャーなどの観光業等に対し財政支援を行うこと。
- 4 離島航路の運航停止に伴う影響に対し、離島住民の生活物資の確保や救急搬送体制の強化等の支援策を講じること。
- 5 船舶の航行及び漁船などの操業の安全を確保する観点から、軽石の最新の漂流状況と今後の予測等について関係者に対し情報提供を行い、沿岸域から公海にかけて漂流している軽石の回収を行うこと。
- 6 軽石による水産資源、サンゴ礁の生物、海岸景観、海岸生態系等の自然環境への影響に関する調査を実施するとともに、その保全・再生に必要な対策に関する財政支援を行うこと。
- 7 回収した軽石の安全性確認及び処分または活用方法に関する技術的支援を行うこと。
- 8 市町村が先行して行っている軽石対策に対する財政措置を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月17日
沖縄県金武町議会

あて先

内閣総理大臣 農林水産大臣 国土交通大臣 環境大臣
内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣

水源基金創設に関する要請決議

平成 28 年 9 月 15 日、国頭村、大宜味村、東村にまたがる陸域や海域が、やんばる国立公園に指定された。やんばる国立公園は、国内最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、ヤンバルクイナやノグチゲラなど、多種多様な固有動植物及び希少種に富んだ生態系が残され、世界自然遺産に登録された。

金武町は、総面積 3,784ha の内、2,021ha が森林区域となっており、約 1,460ha が中南部に送水している金武ダムの集水域となっている。

本島北部を中心に、この自然豊かな山林を源とするこれらのダムは、水清く良質で豊富な水量を有し、中南部への主要な水源地域となって県民の命の水ガメとして大きな恩恵を与えている。

このように豊かなやんばるの森に育まれた水は、人口や産業の集積する中南部へと送水され、都市の人々の暮らしや生活、産業活動に欠かせないものとなっている。また、自然とふれあう環境学習や森林浴等の保健・休養の場になっている。

しかしながら、広大な水源地域をかかえる本島北部ダム所在市町村と比較して受益市町村である中南部とでは生活環境や基盤整備などの格差が拡大している状況である。

沖縄本島の生活や経済活動は、安定的な水の供給が確保されるという前提で成り立っており、良質な水の供給を続ける上でも水源地の自然を良好な状態に保つことは重要であり、県全体としてこれまで以上に水源地域へ目を向けていく必要がある。

平成 24 年度をもって財団法人沖縄県水源基金が解散となり、助成金が打ち切られ、財源の乏しい水源地域は、広大な水源涵養等の機能維持に苦慮しているところである。

金武町も、北部ダム所在市町村と同様に、水源涵養林の果たしている多面的機能や公益的機能の維持、生活環境や農村環境、環境保全、地域振興等を今後も維持していく必要がある。

沖縄県においては平成 28 年度から水源地域環境保全事業により水源地域市町村に助成金を交付している。しかし、水源地域の環境保全や水源涵養機能の維持と併せて生活基盤の整備拡充など地域振興策に対する永続的な財政支援の拡充が必要である。

よって、金武町議会は、下記事項の実現を強く要請する。

記

- 1 水源地域環境保全事業等の一時的な助成措置によるのではなく、永続的な水源地域の振興策を講じるため、受益市町村に水道使用量 1 立方メートルにつき 1 円を負担し、これを原資として水源基金を創設すること。

以上、決議する。

令和 3 年 12 月 17 日

金 武 町 議 会

あて先

沖縄県知事 沖縄県議会議長 沖縄県企業局長

キャンプ・ハンセンにおける新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に対し徹底した対策を求める意見書・決議

令和3年12月17日、沖縄県が米本国から米軍キャンプ・ハンセンに異動してきた部隊において新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことを発表した。また、同基地で働く日本人基地従業員が新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」に感染したことも併せて発表した。キャンプ・ハンセンにおけるクラスターはその後も拡大し、12月22日時点で223人の大規模なクラスターとなっている。日本人基地従業員はキャンプ・ハンセン内でオミクロン株に感染した可能性が強く疑われるが、米軍がゲノム解析を行っていないことから感染経路が判明していない状況である。

クラスターの発生が発表された後も町内の飲食店街にはマスクを着けずに外出する海兵隊員の姿があり、町民は大きな不安を抱いている。12月21日にはキャンプ・ハンセン所属の上等兵が北谷町内において酒気帯び運転で逮捕されており、米軍の規律管理に疑問を抱かざるを得ない。

沖縄県内では長期にわたる緊急事態措置期間を終え、県民一丸となって感染対策を取りながら経済回復への歩を進めつつある中、今回のクラスターによって基地外へ感染が広がり、再び経済に深刻な打撃を与えるような事態にならないか強く懸念される。

日本政府はオミクロン株の水際対策として外国人の入国禁止措置をとっているが、日米地位協定に基づき国外から米軍基地へ直接入る米軍関係者は入国禁止措置の対象外となっている。ウイルスは国境に関係なく人の行動により持ち込まれるものであり、米軍関係者に対しても強い対策が求められる。

よって金武町議会は、町民の生命・財産を守り、安心安全な生活環境を確保する立場から、下記事項について強く要請する。

記

- 1 米軍基地内における感染対策を徹底するとともに、感染が収束するまでの間、キャンプ・ハンセンの全軍人、軍属を基地外への外出禁止にすること。
- 2 日本人基地従業員、全軍人、軍属へのPCR検査を徹底すること。
- 3 米軍基地内において変異株検査体制を構築し、ゲノム解析を実施し、結果を公表すること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定し、検疫法など国内法を適用すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月24日
沖縄県金武町議会

意見書あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省沖縄担当大使 沖縄防衛局長

決議あて先

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米国総領事 在日米軍沖縄地域調整官

令和3年 第8回(12月)臨時会

令和3年第8回臨時会が12月24日(金)に招集され、1日間の会期で開催された。

臨時会では、「キャンプ・ハンセンにおける新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に対し徹底した対策を求める意見書・決議」を審議し、全会一致で可決した。議決結果は下記のとおり。

件 名	議決結果
キャンプ・ハンセンにおける新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に対し徹底した対策を求める意見書・決議 ※詳細は19ページ	可 決 (全会一致)

令和4年 第1回(1月)臨時会

令和4年第1回臨時会が1月26日(水)に招集され、1日間の会期で開催された。

臨時会では、新型コロナウイルス対策に係る補正予算を審議し、採決の結果原案可決となった。

議決結果は下記のとおり。

件 名	議決結果
令和3年度金武町一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ1億8,904万5,000円を増額し、補正後の予算総額を141億4,516万2,000円とするもの。補正の主なものは、住民税非課税世帯等を対象に1世帯当たり10万円を給付する事業に係る経費である。	原案可決 (全会一致)

3 月 定 例 会 の ご 案 内

3月定例会の開会は3月1日(火)を予定しており、日程が決まり次第、有線放送やホームページでお知らせいたします。

詳細は、議会事務局へお問い合わせください。

金武町議会事務局

有線電話：8-2292

NTT：098-968-2292



議員席間に設置したアクリル板

※令和3年度傍聴者数 ※合計 36人

3月定例会	6月定例会	9月定例会	12月定例会	臨時会(4回)の合計
2人	6人	21人	4人	3人

QRコードを読み取ると議会中継サイトに繋がります。



金武町議会では、検温、手指消毒や議場内の換気、議員間及び職員間にアクリル板の設置等新型コロナウイルス感染症対策を行っています。金武町ホームページからもご覧になれます。